



# 第8回上田八木・金融政策サーベイ(2016年12月)の結果について

～今回のMPMIはほとんどが**金融政策変更なし**と予想。「出口開始時期」は1年以上3年未満が51%と過半数。金利見通しは**中長期金利で大幅上昇**。

発表日：2016年12月16日(金)  
上田八木短資株式会社

## 【調査の総括】

- 12月19日～12月20日の金融政策決定会合においては、前回同様ほとんどが不変を予想(98%)。
- 今回新規質問の金融緩和からの「出口開始時期」は、1年以上3年未満が51%、3年以上が42%。
- 金利見通しについては、3か月先の無担保コールON金利DI(「上昇」-「低下」)が+7(前回▲4)と若干の上昇、一方、2年国債金利DI(「上昇」-「低下」)は+25、10年国債金利DI(「上昇」-「低下」)は+16と調査開始以来の大幅な上昇となった。

## 【調査の概要】

調査方法	弊社と取引のある銀行、証券会社、保険会社、事業法人などの市場取引関係者(202先)
調査方法	日本銀行の金融政策決定会合における結果予想と、3か月先の金利見通し
調査方法	2016年12月13日～15日の3営業日間、電話等によるヒアリングにより実施
回答率	94.5 % (回答者数191 先<Q1における回答者数>)

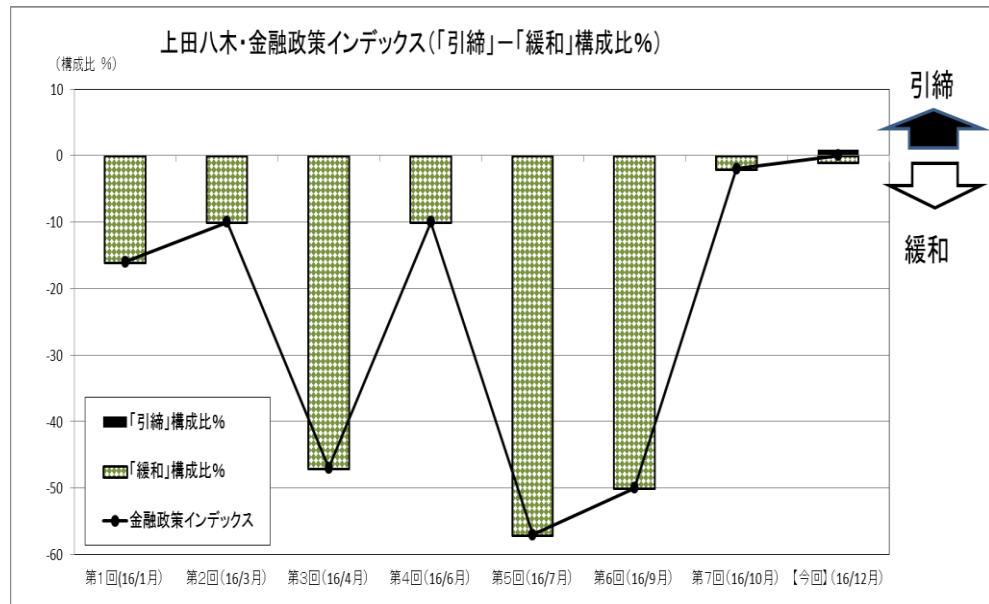
## 【調査結果】

(Q1) 日本銀行の次回の金融政策決定会合(12月19～12月20日)における決定について

回答者全体の1%が「緩和」とみている。「不変」とみる先は98%だった。「引締」を予想する先は1%だった。

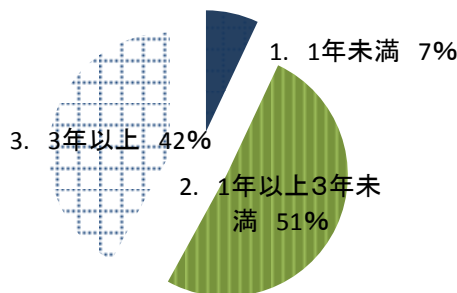
上田八木・金融政策インデックス(「引締」-「緩和」構成比%)は、±0と、前回対比2%ポイント上昇となった。

前回(10月調査)との比較では、「緩和」とみる先は▲1%ポイント(前回2%→今回1%)。「不変」とみる先が±0%ポイント(前回98%→今回98%)。「上昇」とみる先が+1%ポイント(前回0%→今回1%)。



## 【新規質問:Q5】

現状の金融緩和(オーバーシュートコミットメント含む)からの出口開始時期は?

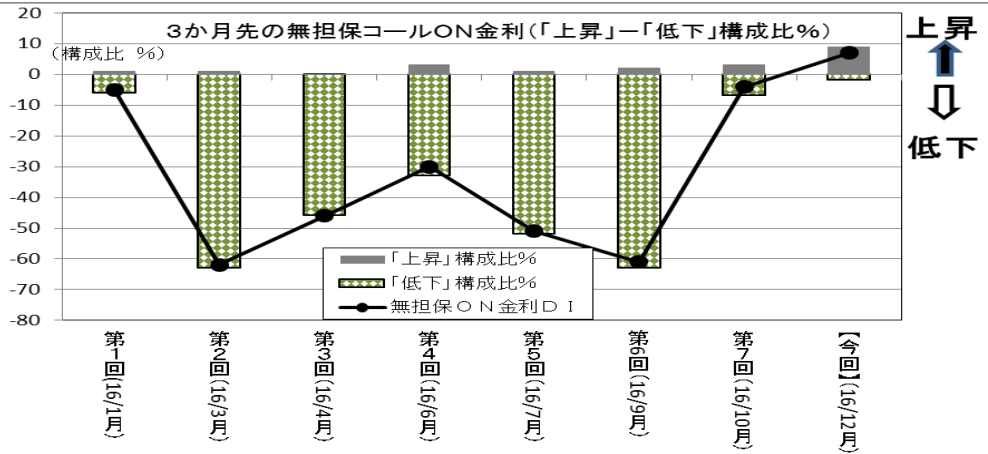


■ 1. 1年未満	7%
■ 2. 1年以上3年未満	51%
■ 3. 3年以上	42%

(Q2) 3か月先の無担保コールON金利は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の2%が「低下」を予想。「不変」の先は89%、「上昇」とみている先は7%だった。

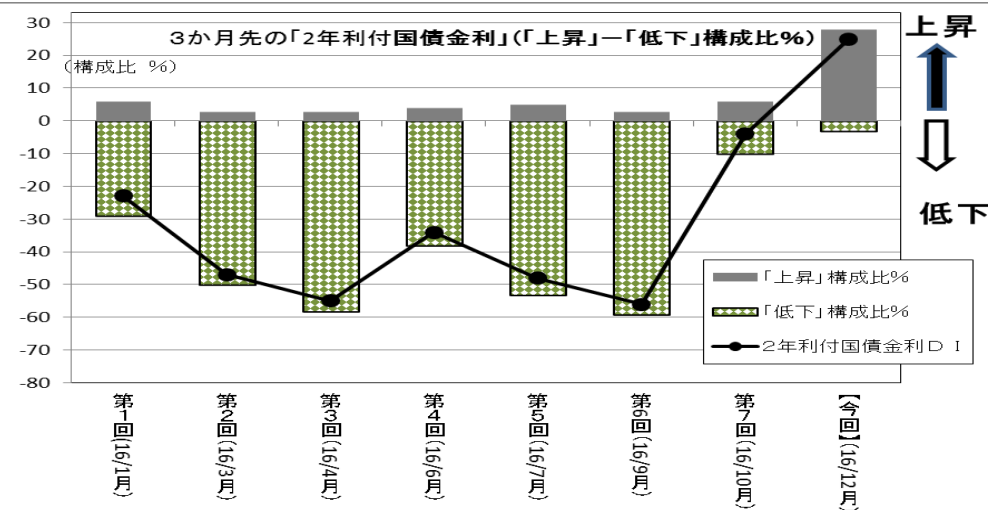
前回(10月調査)との比較では、「低下」とみる先は▲5%ポイント(前回7%→今回2%)。「不変」とみる先が▲1%ポイント(前回90%→今回89%)。「上昇」とみる先が+6%ポイント(前回3%→今回9%)。



(Q3) 3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の3%が「低下」を予想。69%が「不変」。「上昇」を予想した先は28%であった。この結果、DIは過去最大(+25)。

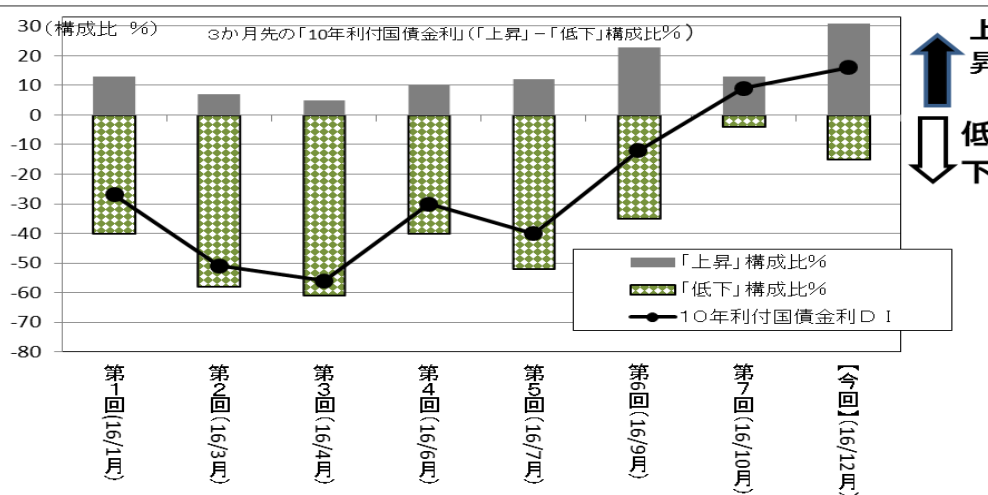
前回(10月調査)との比較では、「低下」とみる先が▲7%ポイント(前回10%→今回3%)。「不変」とみる先が▲15%ポイント(前回84%→今回69%)。「上昇」とみる先は+22%ポイント(前回6%→今回28%)。



(Q4) 3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の15%が「低下」を予想。54%が「不変」。「上昇」を予想した先は31%。この結果、DIは過去最大(+16)。

前回(10月調査)との比較では、「低下」とみる先が+11%ポイント(前回4%→今回15%)。「不変」とみる先は▲29%ポイント(前回83%→今回54%)。「上昇」とみる先は+18%ポイント(前回13%→今回31%)。



【本調査に関する照会先】

企画部 島本、酒井 (電話 03-3272-0293)